

5. トラブルシューティング

動作できない、脱調するなどのトラブルが発生した場合は、下表の内容を順次確認してください。

導入時のトラブルでは、先ず配線に誤りが無いことをご確認をお願いします。

1. 電源投入時の異常

原 因	対 処
POWER 表示点灯しない	電源投入時に、POWER 表示が点灯していなければ内部の故障です。修理が必要です
C・UP 表示点滅しない	電源投入時に、C・UP 表示が3回点滅しなければ内部の故障です。修理が必要です

2. 動作できない

原 因	対 処
取り付けネジが長すぎる	取り付けネジが長すぎると、本体内部部品と干渉します。 X A 2 8 : M 3 ねじ込み長さ 5 mm 以下 X A 3 5 : M 4 ねじ込み長さ 5 mm 以下 X A 2 0 : M 4 ねじ込み長さ 3 mm 以下 X A 4 2 : M 4 ねじ込み長さ 7 . 5 mm 以下 X A 5 0 : M 4 ねじ込み長さ 5 mm 以下
電源容量の不足	電源は D C 2 4 V 2 A をご用意下さい。
自起動周波数が高すぎる	自起動周波数は 1,000pps です。 この値を超えると、起動時に脱調し動作出来ません。 自起動周波数を下げて (200pps 程度) ご確認ください。
パルス入力の条件が合っていない	パルス入力のタイミングをご確認ください。 4 . 5 パルス入力 (2) を参照ください。
入力信号の電圧が合っていない	入力信号の電圧をご確認の上、本コントローラの設定を行ってください。 4 . 6 機能設定 (1) を参照ください。
入力パルス方式が合っていない	入力パルス方式をご確認の上、本コントローラの設定を行ってください。 4 . 6 機能設定 (2) を参照ください。
C・UP 信号が ON になっていない (外部信号同期の場合)	C・UP 信号を ON にして下さい。 動作時は ON でないと動作できません。 4 . 6 機能設定 (3) を参照ください。

3．位置ズレする

原 因	対 処
パルス周波数が高すぎる	最高周波数は 10,000pps です。 この値を超えると、脱調します。
加速時間が短すぎる	最小加減速時間は 100msec です。 加減速時間を、200msec 以上にご確認ください。
加減速が滑らかでない	加速時（減速時）のパルス増分（減分）が大きすぎると 追従できずに脱調します。 加減速時間を大きくし、速度を下げてご確認ください。
パルスのデューティーが 50%でない	デューティーを 50%にしてください。 パルス幅固定の場合は、40 μ sec ~ 50 μ sec です。
アクチュエータの摺動抵抗 が変化した	アクチュエータの摺動抵抗が大きくなることで脱調する 場合があります。 アクチュエータのメンテナンス等の、ご確認をお願い します。